

## No.5

領域：	パブリック、ビジネス		
テーマ：	「調査研究」による地域貢献活動への参加		
担当者名：	金坂成通		
開講時期：	前期：火曜 4・5・6限	募集定員：	30名
内容：	<p>地方公共団体や各種団体の募集する、地域の課題解決に貢献するビジネスアイデアのコンテストもしくは政策提案活動（以下①～③）に参加・出場します。教員は参加意欲や関心に応じて履修者を4～6名のグループにします。何れのチームも地域経済分析システム（RESAS）と表計算ソフト（エクセル等）を使って資料を作り、コンテストに参加します（参加および課題の提出必須）。①にしのみや学生ビジネスアイデアコンテスト、③内閣府主催「地方創生☆政策アイデアコンテスト」（分析対象地域は尼崎市、西宮市、芦屋市、宝塚市、神戸市の何れかに限る。なお、締め切りは10月。③その他・地方公共団体主催のコンテスト（プロジェクト趣旨に沿うもの）。各グループは調査研究の過程で、1回以上の企業見学や現地調査を企画して実行します（若干の交通費の自己負担が生じる）。</p>		
到達目標：	グループで一つの目標に向かって協働する楽しさや難しさを学ぶこと、地域の課題にどのようなものがあるのかを調査し考えられるようになることを目標とします。		
講義方法：	<p>ほぼ毎回、「コンテスト」参加のための準備（調査や学習・資料作り）の進捗状況を講義時間に発表してもらいます。作業は全てグループ単位で行います。学生も教員も自ら学び、共に考えます。見学については、事前学習を行います。事前学習では、教員の出す課題に沿って、グループで事前学習用の資料を作成してもらいます。また、見学後には個人で報告書を提出してもらいます。</p>		
準備学習：	なし。		
成績評価：	個人の受講状況とグループワークの取り組み（過程・提出物）を総合的に評価します。グループワークへの参加と貢献がない学生は、講義時間に単に出席していても「不可」になります。		
欠席基準：	授業実施回数の3分の1（端数は切り捨て）以上を欠席した場合は、単位を修得することができません。		
講義構成：	第1回：各種コンテストの説明、地域経済分析システム（RESAS）の使い方を学ぶ、第2回～第4回：課題を見つける、第5回～第15回目：コンテストでの発表準備（グループで進捗報告）		
履修条件：	結果はともかく、「コンテストで入賞」を目指す意欲があること。事前に各コンテストについてウェブページ等で内容を確認していること。グループで調査・作業する意欲・意思があること。		
推奨科目：	なし（関連する科目を自己判断で履修してください）。		
選考方法：	履修希望者が多い場合は、事務室と相談の上、MyKONANにてお知らせします。		
備考：	講義時間のみでの調査・作業ではコンテストの準備に不十分です。グループメンバーとスケジュールを調整し、講義時間以外にも自主的に集まって作業することが必須です。目標に向かって真剣に協働する経験を得ましょう。参加・貢献する意欲が無い場合は履修をおすすめしません。また、土日祝日等に現地調査がある場合、アルバイト・サークル活動を理由とした欠席は認めません。		
説明会：	なし。申し込みまでに必ず各種コンテストのウェブページを参照し、確認した上で申し込みしてください。		